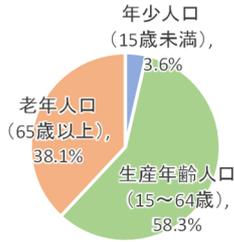


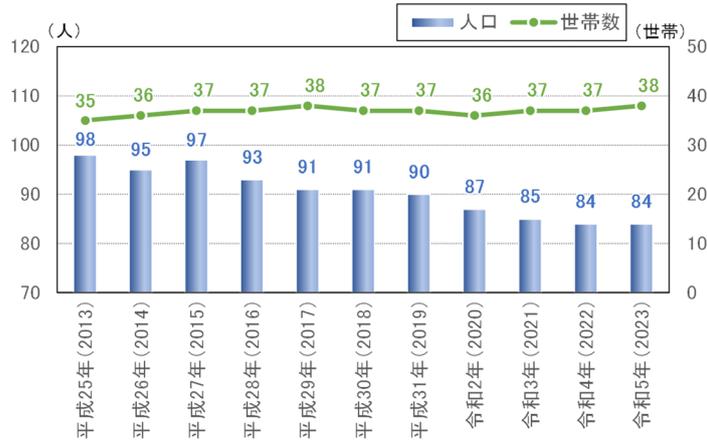
正法庵 (しょうぼうあん)

人口・世帯数等 (令和5年4月)	
人口	84人
世帯数	38世帯
高齢化率	38.1%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落の三方を山に囲まれた農村で、北側はやや田畑が開ける。

地名由来 『美方郡誌』によると、昔、「キロ口山正法庵」という寺(庵)があり、村名になったとされる。いつ頃の寺か不明であるが、庵跡と伝えられる場所がある。

歴史等 近世の正法庵村は、豊臣政権下では太閤蔵入地(豊臣氏の直轄地)で、江戸時代には、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、正保元年(1645)幕府領、寛文8年(1668)からは豊岡藩領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は131石余。字スイバラにたたら場跡がある。昔から水に恵まれず、幕末から明治期にかけてもしばしば旱魃に悩まされた。村の奥に幕末に造られた大規模な前中のため池があり、トンボ公園として整備されている。

明治22年(1889)大庭村の大字となり、昭和29年(1954)からは浜坂町の大字となる。明治24年(1891)の戸数31、人口は男77・女71。

これまで把握している文化財

文化財の件数 13件 (うち指定等文化財 1件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等
有形文化財	建造物	建築物	0	2
		石造物	0	
		工作物・その他の構造物	0	
	美術工芸品	彫刻	0	
		絵画	0	
		工芸品	1	
		書跡・典籍	0	
無形文化財		古文書・歴史資料・考古資料	1	0
		音楽	0	
		演劇	0	
		工芸技術	0	
		その他の無形文化財	0	
		信仰の場	2	
		祭具	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	民具	0	4
		その他の有形の民俗文化財	0	
		年中行事・民俗芸能	1	
	無形の民俗文化財	民俗技術	0	
		食文化	0	
		民間説話・俗信	1	
		その他の無形の民俗文化財	0	
記念物	遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡	2	7
		古墳・その他の墓	2	
		城館跡・寺社跡	1	
		街道・古道等	0	
		戦争遺跡	0	
	その他の遺跡	1		
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0	
		海岸・海浜・島嶼	0	
		河川・滝・溪谷・湖沼	0	
		公園・庭園	0	
その他の名勝地		0		
動物・植物・地質鉱物	動物	動物	0	
		植物	1	
文化的景観	生活・産業・風土により形成された景観地	生活・産業・風土により形成された景観地	0	
		宿場町・城下町・農漁村等	0	



常立神社



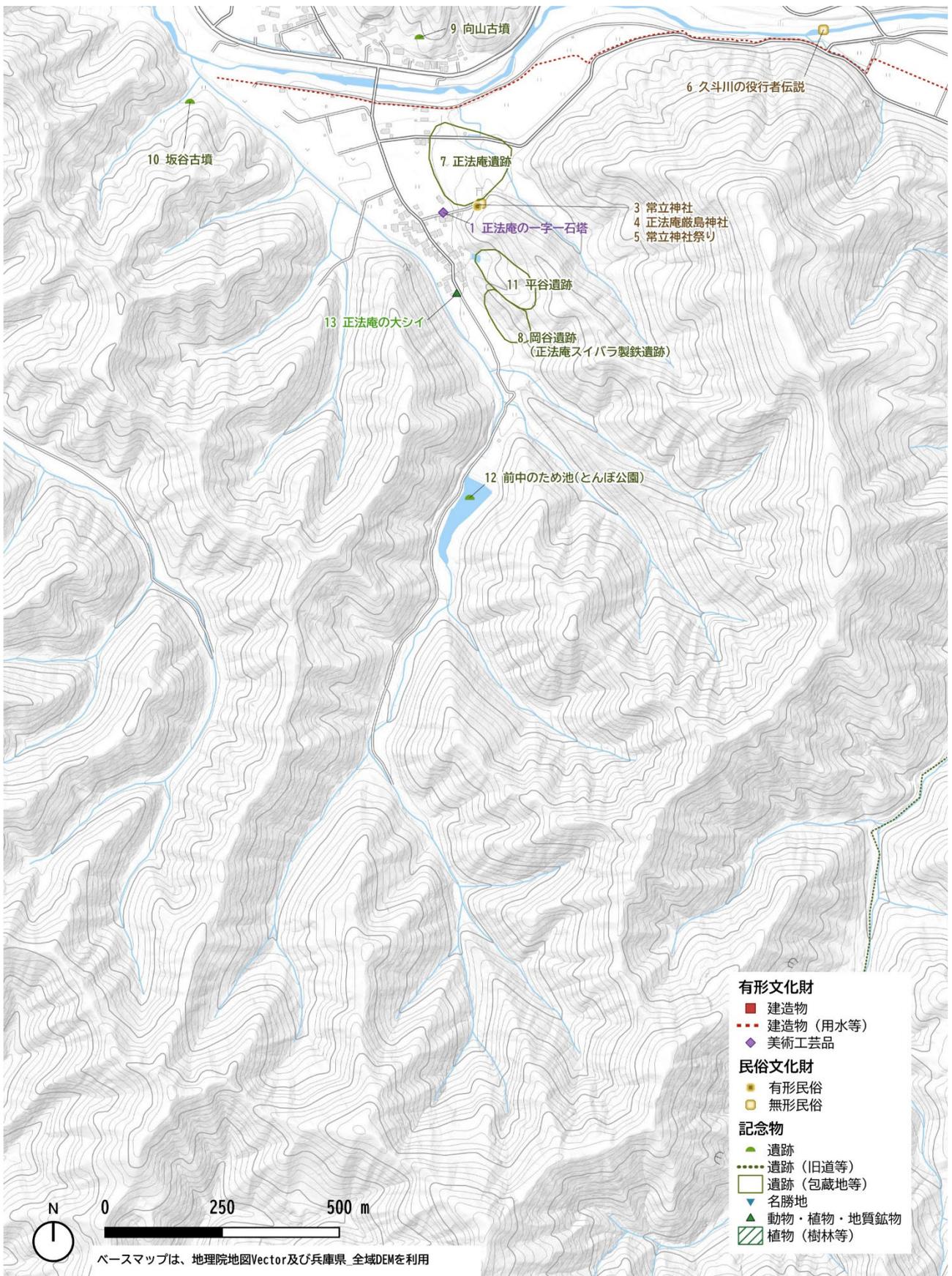
正法庵の一字一石塔



正法庵の大シイ

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

2-15 正法庵

文化財の一覧

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
工芸品	1	正法庵の一字一石塔 (1815年建立)	凝灰岩の自然石型。高さ146cm。文化12年(1815)9月15日建立。主碑銘は「法華一字一石塔」。
古文書・ 歴史資料・ 考古資料	2	西垣晋輔文書	江戸時代の治水・水論争関係文書。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	3	常立神社	祭神は國常主神。創立年月は不明。明治初年(1868)までは妙見宮と称した。明治6年(1873)10月に村社に列せられる。
	4	正法庵敵島神社	近代社格は無格社。常立神社境内社。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・ 民俗芸能	5	常立神社祭り	10月1日に行われる。
民間説話・ 俗信	6	久斗川の役行者伝説	※『ふるさと浜坂シリーズ1「ふるさと浜坂散歩みち」』（平成4年、浜坂町教育委員会発行）p121 参照

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
散布地・ 集落跡・ 生産遺跡等	7	正法庵遺跡	弥生～平安時代の散布地。弥生土器・土師器・須恵器片が多数散布。
	8	岡谷遺跡 (正法庵スイバラ製鉄遺跡)	近世の生産遺跡。カナクソが散布。豊岡藩領の鉄山(正法庵鍛冶屋場)で、経営者は大庄屋伊賀芳治。亀谷から取り出した鉄をふきわけたと伝わる。スイバラから亀谷へ通じる道は現在もあり、正法庵部落の山本家の墓地には鉄山ものの墓と称する石が2・3個ある。これは外部から入り込んできた職人(タタラもん)の墓ではないかとされている。
古墳・ その他の墓	9	向山古墳	古墳時代の古墳。土取りにより全壊。
	10	坂谷古墳	古墳時代の横穴墓。
城館跡・ 寺社跡	11	平谷遺跡	近世寺院跡。階段状の遺構がある。
その他の遺跡	12	前中のため池(とんぼ公園)	正法庵地区は、昔から水に恵まれず、幕末から明治期にかけてしばしば旱魃に悩まされ、幕末に村の奥に「前中のため池」が造られた。現在は、「トンボ公園」として、トンボの生息に適した環境が整備されている。

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	123	正法庵の大シイ	平家の末えいと伝わり、庄屋など務めた由緒ある伊賀家の庭にあり、推定樹齢700年ともいわれるスダジイの古木。幹回りが約6m、東西・南北ともに約17mにわたり枝が伸びる。地上3mのところには、ツバキなどが自生し、ヤブコウジ・シダなどの群生も見られる。8月には点々と寄生するフウランが花を咲かせ高貴な香りをただよわせる。 県指定天然記念物

